

解禁時間：2025年9月26日（金）18時

**コミックス初「ドイツ・ノンフィクション賞」
受賞作家・ウリ・ルスト、来日決定！
元アンジュルム・和田彩花、漫画家・南Q太らとのトークイベントも**

ULLI LUST IN JAPAN 2025 10/30（木） - 11/1（土）

ウリ・ルスト 【コミックス初のドイツ・ノンフィクション賞受賞作家】
**「今日が人生最後の日」発売記念
来日イベント決定！**

10/30 （木）	18:00 - 19:30 ウリ・ルスト × 和田彩花 トークセッション 「パンクスとアイドルが、旅に出た理由」 at 六本木 蔦屋書店 ※サイン会も実施／オンライン配信あり	要予約
10/31 （金）	16:35 - 18:05 ウリ・ルスト特別講義 at 専修大学 神田キャンパス ※一般の方もご参加頂けます 19:30 - トークイベント at ゲーテインスティテュート	
11/1 （土）	13:30 - 15:00 南Q太 × ウリ・ルスト × アリックス・ガラン トークセッション 「2025年に女性が マンガを描くということ」 at 東京バンド・デシネフェスティバル 東京国際フランス学園	要予約

pic by Kai Pfister



GW お問い合わせ contact@shucream.com Follow us in X @ShuCreamGW ※イベントの詳細はこちら



『FEEL YOUNG』を30年以上制作するマンガ制作会社・シュークリームが2025年4月に刊行したヨーロッパ女性漫画の金字塔『今日が人生最後の日』の著者、ウリ・ルストの来日が決定しました。来日時期は10月30日（木）から11月1日（土）までの3日間です。

滞在中には、ハロー！プロジェクト「アンジュルム」元メンバーの和田彩花とのトークセッション、さらに「東京バンド・デシネ・フェスティバル」のプログラムの一環として、漫画家・南Q太やベルギー出身のコミックス作家アリックス・ガランとのトークイベントなど、国境・国籍・世代を超えた多彩なイベントに出演します。

『今日が人生最後の日』では、1980年代のイタリアを放浪した17歳当時の体験をもとに、自由を求めて自分らしさを守ろうとする葛藤を鮮烈に描き出したウリ・ルスト。「女性が自由であるためにはどうすればよいのか」という問いを世界に投げかけ、マックス＆モーリッツ読者賞（ドイツ）、アングレーム国際漫画祭 新人賞（フランス）、アルテミシア賞（フランス）、イグナッツ賞（アメリカ）、LA・タイムズ・ブック・アワード（アメリカ）などを受賞し、国際的に高い評価を獲得しました。その後も『Wie ich versuchte, ein guter Mensch zu sein (=どんなふうにわたしがいい人間であろうとしたか)』など、フェミニズム、自由、暴力といった社会的なテーマに切り込む作品を発表し続け、注目を集めてきました。



「誰の目も気にせず自由な時間を過ごしたかった」とフランスへ旅立った、元アイドル・和田彩花。

「世界を知りたい!」17歳で旅に出た、元パンクスのウリ・ルスト。

元アイドルと元パンクス。

年齢も、国籍も、生きてきた背景もまったく異なるふたりが、それぞれの旅の中で見つけた“自由”とは何だったのか。

■日時：2025年10月30日（木）18時開始（17時30分開場）

■会場：六本木 蔦屋書店 2階 SHARE LOUNGE 内イベントスペース

※日本語通訳あり

■チケットの種類

チケット①：書籍つき会場参加チケット

チケット②：会場参加チケット

チケット③：書籍つきオンライン参加チケット

チケット④：オンライン参加チケット

※チケット①の書籍つき会場参加チケットをご購入のお客様はトーク終了後、ウリ・ルストさんのサイン会にご参加いただけます。

※チケット③の書籍つきオンライン参加チケットをお申し込みのお客様の書籍はイベント終了後にウリ・ルストさんのサイン本を発送いたします。

■チケットの料金

チケット①：6,600円（書籍代：4,950円＋参加費1,650円）

チケット②：2,200円

チケット③：6,050円（書籍代4,950円＋参加費500円＋送料600円）

チケット④：1,100円

■お申し込みはこちらから

※2025年10月1日19時より開始

<https://store.tsite.jp/roppongi/event/shop/49955-1830250918.html>

②ウリ・ルスト特別講義 at 専修大学
専修大学「サブカルチャー論」特別講義

■日時：2025年10月31日（金）16時35分開始 18時05分終了

■会場：専修大学 神田校舎2号館202教室
（住所：〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8）
<https://www.senshu-u.ac.jp/about/campus/>

■チケット：無料（予約不要、一般の方もご参加いただけます）
※日本語通訳あり

③ウリ・ルスト トークイベント at ゲーテ・インスティトゥート

ウリ・ルスト トークイベント人生を描くことーウリ・ルストとの対話
朗読と対談 | グラフィックノベルの朗読

■日時：2025年10月31日（金）19時30分開始 21時00分終了

■会場：ゲーテ・インスティトゥート
（住所：〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56 2F）

■チケット：無料
※日本語通訳あり

協力：オーストリア文化フォーラム東京

さらなる詳細は以下から
https://www.goethe.de/ins/jp/ja/ver.cfm?event_id=27005515

④南Q太 × ウリ・ルスト × アリックス・ガラン トークセッション

東京バンド・デシネ・フェスティバル
南Q太 × ウリ・ルスト × アリックス・ガラン
「2025年に女性がマンガを描くということ」

■日時：2025年11月1日（土）13時30分開始 15時00分終了

■会場：東京国際フランス学園 講堂（東京都北区滝野川5-57-37）

■チケット：770円
※2025年9月27日（土）より発売開始
※日本語通訳あり

さらなる詳細は以下から
<https://bd-fest.com/>



『今日が人生最後の日』

著者：ウリ・ルスト 翻訳：鵜田良江

ISBN：978-4-910526-78-2

B5変形（縦230×横170×32mm）／並製／464P

2025年4月18日発売

4,500円+税

女にとって、自由って——
17歳パンク少女、最過酷旅

世界11カ国で翻訳出版、各国での受賞歴を誇るドイツ女性コミックスの金字塔。

マックス&モーリッツ読者賞（ドイツ）

アングレーム国際漫画祭 新人賞（フランス）

アルテミシア賞（フランス）

イグナッツ賞（アメリカ）

LA・タイムズ・ブック・アワード（アメリカ）

など世界中で賞を獲得したヨーロッパ女性コミックスの古典『今日が人生最後の日』の日本語翻訳版が完成！

あらすじ

1984年を舞台にした本作は、著者のウリ・ルストが17歳の時に体験した実話の記録。学校を中退し、ウィーンのパンクキッズと遊んでいたウリは、趣味がセックスというワイルドなエディと意気投合。2人はお金も、パスポートも持たず、寝袋を1つ抱えて国境を目指しヒッチハイクを繰り返す——ウィーンからアルプスを越え、ヴェローナ、ローマ、ナポリ、さらにシチリアまで旅する2カ月間のオデッセイ。17歳の少女が求めた『自由』とは——この最も過酷な旅の中で出会った人々の繊細でユーモラスな描写を通じて描かれる、自らの尊厳を守るために戦った17歳の旅物語。

書籍推薦文

読まずに死ぬなんてありえなかった／エリイ（現代美術家）



読む前と読んだ後では世界の捉え方や解像度が変わってしまう。彼女たちと一緒に旅をさせてもらっているような没入と共に、かつて訪れたことのあるウィーンやイタリアの地図を頭で描きながら、1984年を追体験出来る。読まずに死ぬなんてありえなかった。

女が、女の人生が、どういうふうにやったら利口だといえるのか？／南Q太（漫画家）



自分のことをただの穴だと感じてしまうほど、めちゃくちゃな扱いを受けながらも自尊心を保ち続けていた少女の強さには、ちょっと圧倒されましたし感動しましたね。はじめから、少女は危ないほうに危ないほうに進んで行ってるようにみえ、そのせいで被害にも遭い...浅はかな行動をしているように思えますが、一晩考えて、でもじゃあ女が、女の人生が、どういうふうにやったら利口だといえるのか？と問われてる気がしてきました。逃げ場なんてないじゃないか？

読後、あまりの衝撃に動けませんでした／北原みのり（作家）



読後、あまりの衝撃に動けませんでした。「女の不幸の色は時代と国を超えて似ている」私はずっとそう思っていたからこそ、女性のための仕事をしたい、世界の女性たちとつながりたいと思っていたのですが、この本で、そのことを改めて強く強く思い出しました。

すごい大作です／内田春菊（作家）



すごい大作です。女性なら誰しも他人事ではないパンクロッカー女子の体当たりな旅。16の時、神社や公園で寝たこと、無人駅のそばの海辺を歩いたことが昨日のことのように蘇りました。

できるだけ多くの方に読んでいただきたい！／マライ・メントライン（通訳・翻訳家）



絵の個性と人間描写のリアルさの威力によって、コミックに鈍感なドイツ語圏でも高く評価されています。つまり傑作です。ドイツ語圏におけるグラフィック・ノベルの代表作であり、そしてもともと大好きな作品なので、待望していた日本語版を、できるだけ多くの方に読んでいただきたい！

著者プロフィール



ウリ・ルスト Ulli Lust

1967年、ウィーン生まれ。グラフィックノベル作家。現代生活に関する鋭い観察を特徴とするコミックス・ジャーナリズムや、エロティック・神話的な詩が注目されている。ベルリンを拠点に活動し、アートと物語の境界を軽やかに行き来しながら、現代のグラフィックノベル界において独自の地位を築く。マックス&モーリッツ読者賞、アングレーン国際漫画祭の新人賞、女性コミックス作家に贈られるアルテミシア賞、イグナッツ賞、LA・タイムズ・ブック・アワードなど受賞歴多数。2025年には最新作でコミックス初となるドイツ・ノンフィクション賞を受賞した。

(photo by Kai Pfeiffer)

概要詳細

■ウリ・ルスト来日情報まとめ

<https://shu-cream.com/ullilustinjapan2025.html>

■公式Xアカウント

<https://x.com/ShuCreamGW>

■プレスリリース素材

<https://www.dropbox.com/scl/fo/nosxxifcdz5ol78wfidf3/ADSdorvjpJHcUel5cMkuFr8?rlkey=jun2dgecfu14i1evutfpzurzh&st=3an0de5b&dl=0>

株式会社シュークリームについて

株式会社シュークリームは、Manga beyond genderをテーマに、30年以上にわたって様々な漫画を編集・制作しています。

制作ジャンルは、少女漫画、女性漫画、出産育児漫画、動物漫画、エッセイ漫画、BL漫画など、多岐にわたりますが、読者の中心はいつも女性です。

これまでに世に送り出したコミックスは3,000冊以上、累計発行部数は5,000万部を超えています。

【会社概要】

■会社名：株式会社シュークリーム

■本社所在地：

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-1第一勸銀稲垣ビル7階

■代表者：萬 真理子

■設立：1989年6月

■HP：<https://shu-cream.com/>



【お問い合わせ】以下のフォームよりお問い合わせください。

<https://shu-cream.com/contact>

株式会社シュークリームのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/104159